

加盟団体 各位
役員 各位

(公社) 全日本アーチェリー連盟
会長職務代行者
副会長 島田 晴男
(公印省略)

第 17 回アジア競技大会第一次選考会リカーブ部門
兼 2014 年ナショナルチーム選考会
開催要項

主催 全日本アーチェリー連盟
主管 全日本アーチェリー連盟強化部
協力 全国高体連アーチェリー専門部

※2013 年 5 月 30 日付 (全日ア連強化第 13-017 号) 及び年間計画の日時と異なっております。ご注意ください。

- 1 日時 2013 年 11 月 10 日 (日) ～ 11 月 13 日 (水)
- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 11 月 10 日 (日) 14:00～16:00 | 受付、弓具検査、公式練習 |
| 16:10～16:20 | 開会式 |
| 11 月 11 日 (月) 09:00～09:45 | 自由練習 |
| 10:00～15:00 | FITA ラウンド |
| 11 月 12 日 (火) 09:00～09:45 | 自由練習 |
| 10:00～15:00 | FITA ラウンド |
| 11 月 13 日 (水) 09:00～09:45 | 自由練習 |
| 10:00～15:00 | 70m ラウンド 2 回 (144 射) |
- *2 回の FITA ラウンドと 70m ラウンド 2 回の合計得点で順位を決定し、男女各 6 名のナショナルチームを確定、最終選考会に出場する
*6 位が同点の場合、シュートオフで順位を決定する
- 2 会場 静岡県掛川市満水 2000 つま恋 NTC 競技別強化拠点アーチェリー場
- 3 参加費 5,000 円
- 4 宿泊 つま恋ノースウィング TEL:0537-24-1111
*宿泊希望者は、別途申込書にて申し込むこと
1泊3食 13,000 円 (税込み)
- 5 競技方法 全日本アーチェリー連盟競技規則による
①すべての距離を、6 射 6 エンドで実施する
②短距離は 6 リングのマルチフェースを使用する
- 6 選考対象期間 平成 24 年 10 月 29 日 (月) から平成 25 年 10 月 27 日 (日) までとする。
- 7 出場手続き ①出場要件
ア) 2013 年ナショナルチーム選手
イ) 第 55 回全日本ターゲット選手権大会予選ラウンドにおいて 1320 点以上を記録し、さらに、最終成績が 3 位以内の者

- り) 2013 年度全日本公認大会(全日本ターゲット選手権大会も含む)において複数回にわたり FITA ラウンド 1310 点以上を記録している者
 え) 優先順位は、ア) い) り)の順とし、男女各 12 名を参加有資格者とする
 ただし、12 名に満たない場合もあり得る
 わ) 12 番目が同点の場合、高得点を有する者を参加有資格者とする
 か) 全日本アーチェリー連盟強化部の方針に従い、同部が推進する強化事業に協力的に取り組める者
 ②有資格者は別紙「参加費納付書」に必要事項を記入し、加盟団体より申し込む
 ③参加費の振込み後の辞退は認められないが、やむを得ない事情で欠場する場合は、その理由を明記した欠場届けを加盟団体から本連盟に提出すること。その場合、参加費は返却しない
 ④申込締切日 **2013 年 10 月 29 日 (火) 必着**
 (全日本ターゲット選手権大会閉会式後会場にて受付可)
 ⑤選考日 2013 年 10 月 30 日(水)
 ⑥申込み先 〒150-8050 渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内
 全日本アーチェリー連盟 TEL : 03-3481-2402
 FAX : 03-3481-2403
 ⑦振込先 名義 全日本アーチェリー連盟
 口座 みずほ銀行 渋谷支店 普通 79992
 8 宿泊申込み 宿泊(弁当)の希望者は別紙「宿泊・弁当申込書」に必要事項を記入し、加盟団体より、直接「つま恋」に申し込む
 *宿泊の申込み先が変更になったので、注意のこと
 9 その他
 - ・第 17 回アジア競技大会コンパウンド部門の選手選考については、2013 年度全日本公認試合 (FITA ラウンド) で上位記録を持つ男女各 6 名が最終選考会に出場できるものとする。リカーブ部門・コンパウンド部門ともに最終選考会開催要項(詳細)については、後日改めて連絡する。
 - ・2014 年第 1 回アジアグランプリバンコク大会に今選考会男女各上位 4 名をリカーブ部門に派遣する。(2014 年 2 月下旬予定)

選手の心構え

- ①選手は、礼儀を尊び規律を遵守し、活力ある日本を代表するにふさわしく、かつ他国参加者との友好と国際親善に寄与できること。(JOC による日本選手団編成方針抜粋)
 ②ドーピング検査への対応
 ☆選手は、競技会前 7 日間に服用した医薬品(処方薬・売薬を問わない)および摂取したサプリメント類の名前と量を記したメモを携行することが望ましい。
 ☆病気・怪我等の治療のため禁止物質の服用および禁止方法を実施している場合、「JADA TUE 申請書」を日本アンチドーピング機構(JADA)に提出する必要がある。
 TUE → 治療目的使用に係る除外措置
 ☆不明な点は、全日本アーチェリー連盟事務局に問合せること。
 ※各加盟団体責任者の皆様へお願い
 上記の選考会を実施するにあたり、FITA ラウンド大会に参加を希望する選手が増えると思われまます。年間予定で 70m ラウンドを多く予定している団体は、FITA ラウンドに変更していただくか、選手が他県の大会に出向くことをご容認下さいますようお願い致します。

以上